

# 令和元年度 相談支援部会 年間活動報告書

## 令和元年度の主な取組内容

- ◆ 地域生活支援拠点等の充実に向けた地域資源調査。
- ◆ 意思決定支援及び日常的な契約・確認行為における署名代行等のガイドライン策定に向けた協議。
- ◆ 相談支援事業所間及び障害児通所支援事業所間の連携、情報共有等の横のつながりの強化。
- ◆ 福祉人材不足解消に向けた、地域の人材の掘り起こし。
- ◆ 大規模災害時における、避難所等での要支援者対応。

## 活動の状況

	日にち	内容	備考
第1回	5月31日	①平成30年度の取組の振り返り *緊急入所保護事業について *相談支援事業所連絡会について *こどもあんしんナビの活用状況について ②令和元年度の取組について協議 *地域生活支援拠点について *意思決定支援や契約行為について	
第2回	9月4日	・地域生活支援拠点等の充実に向けた地域資源調査について ・日常的な契約又は確認行為における署名代行等の実例報告や課題の整理について ・相談支援事業所連絡会の報告 ・障害児通所支援事業所連絡会の報告	
第3回	12月13日	・医療的ケアを必要とする方への大規模災害時対応について ・権利擁護にまつわる日常的な支援における課題についての作業進捗状況確認 ・福祉人材不足解消に向けた地域の人材掘り起こしについて	
第4回	2月14日	・地域生活支援拠点等の充実に向けた地域資源活用と連携 ・意思決定支援及び日常的な契約又は確認行為における署名代行等に関するガイドライン案について	
相談支援事業所連絡会	4/18・5/16 6/21・7/18 8/22・9/19 10/18・11/21 12/19・1/16 2/21	①事例検討及び合同研修について *障害者+高齢者世帯など ②相談支援事業所間の連携・情報共有について ③意思決定支援や日常的な契約・確認行為について現状確認 ④より理解しやすいサービス等利用計画作成に向けての意見交換・勉強会	
障害児通所支援事業所連絡会	7月19日 2月18日	①各事業所における現況報告 ②障害児通所支援事業所と保育・教育との連携について ③児童発達支援等の無償化について ④リスクマネジメントについて ⑤障害児通所支援事業に係る意見交換	

## 成果・活動から見えてきたことなど

意思決定支援及び日常的な契約・確認行為における署名代行等について、部会内で現状を確認したところ、日常生活を支える中で支援者が署名の代筆や、捺印の代行をせざるを得ない場面が少なからず発生していることがわかった。支援者や支援機関は利用者の権利・利益を第一に考え、それら代行をしているものの、「不正な行為と捉えられないか?」「第三者性や客観性をどう担保すれば良いか?」などの不安や迷いを抱えている。

これらの支援については、まず当事者の意向をどのように確認するか、次に書類等手続き上の署名・捺印代行に関する判断基準、そしてそれらの第三者性をどのように担保し記録するかといった課題を整理する必要がある。法的な部分については専門家の助言を受けると共に、厚労省や東社協のガイドライン、行政や福祉・医療・教育機関等における事例等を調査し、コンセンサスを得ながらオリジナルのガイドライン案作成に取り組み、『あなたと私の権利を守るサポート Book』（仮称）として近日中の発行を目指している。

福祉人材の不足については、市内の法人・事業所も例外ではなく、どこも人材確保に苦戦している。地域生活を支えるヘルパーはもちろん、GH の夜勤、通所事業所の支援員に至るまで全体的に不足しており、更には募集経費の増加や、派遣社員の導入等で法人の経営は圧迫されつつある。いかに市内に福祉サービスを提供する事業所ができたとしても、そこで働く「ヒト」がいなければ全く意味がなく、福祉人材の確保は最優先で取り組まなければならない重い地域課題である。

人材確保の成功事例を分析しながら、市内において現在は支援職から離れている有資格者や経験者の掘り起こしや、学生・主婦・定年退職者それぞれの層に対する訴求、支援周辺業務（調理・清掃・送迎車の運転や添乗など）や短時間勤務といった未経験者でも比較的チャレンジしやすい業務に絞った募集等を、市内法人が連携して取り組めるよう研究を進めた。

令和元年度末は新型コロナウイルスの感染拡大によって、ワーキンググループの会議や作業を継続することが困難となり、取組内容の進行上でも大きな影響を受けた。これまで当部会では緊急時の対応や、大規模災害時における支援についても検討を進めてきたが、新型コロナウイルスが再び感染拡大した場合を想定した支援についても、緊急事態宣言発出時における支援体制の検証を含めて検討をする必要がある。

## 今後の活動予定

	日にち	内容	備考
相談支援部会	7月21日 9月18日 12月18日 2月12日	・令和2年度の取組について	
相談支援事業所連絡会	6/19・7/16 8/20・9/17 10/16・11/19 12/17・1/21 2/19・3/18	・コロナ禍における支援について ・相談支援事業所間の連携・情報共有について ・事例検討及び勉強会について ・他部会との効果的な連携について	4月、5月は中止。
障害児通所支援事業所連絡会	7月9日	・コロナ禍における支援体制の検証と今後の課題について ・事業所間の連携・情報共有について	

# 令和 2 年度 相談支援部会 年間活動計画書

## 今年度部会の主な取組予定

- ◆ 新型コロナウイルスへの対応の検証と今後の対策を検討
- ◆ 教育分野との連携について検討

## 活動内容及びスケジュールなど

	日にち	内容	備考
第 1 回(実施済)	7 月 21 日	・新型コロナウイルスへの対応の検証と今後の対策を検討	
第 2 回	9 月 18 日	・教育分野との連携について検討	
第 3 回	12 月 18 日	・地域体制強化支援の実施状況について	
第 4 回	2 月 12 日	・『あなたと私の権利を守るサポート Book』(仮称)のリーガルチェックを実施	
研修会	7 月 31 日	・新型コロナウイルスへの感染対策と衛生管理について	
相談支援事業所 連絡会 (一部実施済)	6 月 19 日 7 月 16 日 8 月 20 日 9 月 17 日 10 月 16 日 11 月 19 日 12 月 17 日 1 月 21 日 2 月 19 日 3 月 18 日	・コロナ禍における相談支援の在り方について ・教育分野との連携について ・計画相談における手続きの効率化について ・困難ケースの共有及び事例勉強会 ・地域体制強化支援の実施状況について ・相談支援事業所間の連携・情報共有について ・他部会との効果的な連携について	・毎月 1 回開催 ・4 月, 5 月は緊急事態宣言に伴い中止。6 月以降 Web 会議ツールを使用し再開。
障害児通所 支援事業所 連絡会	7 月 9 日 1 月～2 月	・コロナ禍における支援体制の検証と今後の課題について ・障害児通所支援事業所間の情報共有	・年 2 回開催

## その他

今後来るであろう新型コロナウイルス感染の第 2 波, 第 3 波に備え, 今のうちに対応策を講じることが急務であると考える。

# 令和元年度 就労支援部会 年間活動報告書

## 令和元年度の主な取組内容

- ◆ 就労支援に関する地域の課題の掘り起こしと各課題解決のために必要な取組について協議
- ◆ 就労支援関係機関による連携強化のための仕組みづくりについて協議
- ◆ 作業部会(農福連携に関する協議・国分寺障害者施設お仕事ネットワーク・就労移行支援事業所連絡会)を設置し、取組内容等について部会で検討・協議。

## 活動の状況

	日にち	内容	備考
第1回 第2回 第3回 第4回	5月17日 9月10日 12月10日 2月10日	① 平成30年度就労支援部会の活動報告 ② 各作業部会の取組状況について報告 ③ 今年度の取組について報告・協議 ＊3つの作業部会の設置について(農福連携に関する協議・国分寺障害者施設お仕事ネットワーク・就労移行支援事業所連絡会)(第1回) ＊地元企業との連携強化に向けた取組について(第1回) ＊国分寺市広報番組「国分寺ぶんぶんチャンネル」によるお仕事ネットのPRについて(第1回) ＊ニュースレターの記事について(第2回) ＊障害者就労施設等の物品販売ポータルサイト開設について(第1回～第4回) ＊「福祉サービスの枠にとらわれない障害者の働く職場」を作る取組について(第1回～4回) ＊相談支援専門員との連携について(第1回～4回) ＊就労アセスメントの活用について(第4回) ＊市役所内実習について(第4回) ＊次年度の取組について(第4回)	
農福連携に関する協議	11月26日 1月20日	＊平成30年度実施内容の確認 ＊現在の取組内容の確認・検証 ＊今後の取組の方向性について ＊トマト加工品を給食で使用することについて	
国分寺障害者施設お仕事ネットワーク	4/11・5/9 6/13・7/11 8/8・9/12 10/10・11/14・ 12/12・1/9 2/13	＊共同受注進捗状況等の報告(毎月) ＊ぶんぶんチャンネルに関すること ＊東京都共同受注窓口登録(新規) ＊市役所新庁舎への常設ショップ設置要望 ＊ネットワークパンフレット更新作業	

就労移行支援 事業所連絡会	8月28日 10月16日 2月3日	* 就労移行支援事業所連絡会の今後の方 向性について * 就労アセスメントについて * 就労移行支援利用者の獲得について * 就労に向けた実習について	
------------------	-------------------------	---	--

### 成果・活動から見えてきたことなど

ぶんぶんチャンネルでのお仕事ネットワークの活動紹介や障害者就労施設等の物品販売ポータルサイトの開設等を通じて福祉的就労事業所の活動をPRすることが出来、売り上げ増加や仕事の拡充について十分ではないが、多少なりとも成果をあげることができた。今後も効果的なPR活動の在り方を検討し、継続的に情報発信を続けていく必要がある。

農福連携や障害福祉サービスの枠にとらわれない障害者の働く職場づくりについては、意見交換を重ねたものの目に見える成果をあげるには至らなかった。具体的なイメージを共有することが難しいのが原因と考えられるので、今後は試験的な取組を行うなどの検討が必要と感じている。

新型コロナウィルス感染症により、障害福祉サービス事業者、地域の関係団体・学校関係などあらゆる分野の活動の停滞や売り上げの減少、負担の増大などの影響が生じている。部会の活動テーマである地元企業(JA・商工会・商店会連合会など)との連携については、社会全体が昨年度までの状況から一変したなか、それぞれが新たに抱えている課題を異業種が連携することによって解消することができるかもしれません。様々な連携のあり方を模索するチャンスと捉え、積極的に活動していけたら良いと思っている。

### 今後の活動予定

令和2年度第1回 就労支援部会	7月28日	・作業部会の取組状況について報告 ・今年度の取組について	
国分寺障害者 施設お仕事 ネットワーク	原則毎月 第2木曜日		

### その他

--

# 令和2年度 就労支援部会 年間活動計画書

## 今年度部会の主な取組予定

就労支援に関する地域の課題の掘り起こしと各課題解決のために必要な取組について協議

- ◆ 商業施設での物品販売の実施について
- ◆ 一般企業実習先の開拓について
- ◆ お仕事ネットワークの連携活性化について

## 活動内容及びスケジュールなど

	日にち	内容	備考
第1回 (実施済)	7月28日(火)	① 各作業部会の取組状況報告 ＊農福連携に関する協議 ＊お仕事ネットワーク ＊就労移行支援事業所連絡会 ④ 令和元年度就労支援部会活動報告 ⑤ 今年度の取組について協議 ＊商業施設での物品販売について (10月3日(土), 4日(日), 10日(土), 11日(日) 11:00～16:00 ミーツ国分寺3階プラタナス広場にて実施予定) ＊一般企業実習先の開拓について ＊お仕事ネットの連携活性化について ④ 次期障害者計画等策定に係る意見聴取について	
第2回	9月30日(水)	今年度の取組について ＊進捗状況の報告や協議等	
第3回	11月中旬～ 12月上旬		
第4回	1月中旬～ 2月上旬	今年度の取組について ＊検証及び次年度に向けての課題・取組について協議	
農福連携に関する協議	不定期 (随時開催)	加工品の製造や役務提供等の連携等について検討・協議	
国分寺障害者施設お仕事ネットワーク	毎月1回 (8月より再開)	＊共同受注に関する進捗状況報告等 ＊商業施設での物品販売について ＊お仕事ネットの連携活性化について	
就労移行支援事業所連絡会	第1回 8月25日(火) (年3～4回予定)	就労アセスメントに関することや実習先の開拓について等	

# 令和元年度 精神保健福祉部会 年間活動報告書

## 令和元年度の主な取組内容

- ◆ 精神障害にも対応した地域包括ケアシステムの構築に向けて協議を行う。(継続)
- ◆ 精神科病院に長期入院中の方の実態を把握し、課題や地域移行支援のあり方を検討する。(継続)
- ◆ 精神障害者の緊急時、災害時における対応について課題と対応を協議する。

## 活動の状況

	日にち	内容	備考
第1回	5月15日	① 平成30年度の精神保健福祉部会の活動報告 ② 協議事項～今年度の部会の取組について～ ・精神障害にも対応した地域包括ケアシステムの構築に向けて ・精神障害者の方にとっての地域生活支援拠点について ・長期入院をしている市民の状況把握 ・「地域移行」に関する部会と各種研修会の連動 ・障害当事者や家族の気持ち、状況を直接伺う機会 ・緊急時や災害時の対応 ・長期入院の事例検討 ・都事業「精神科医療地域連携事業」の経過確認 ・ゆるやかな居場所について	② ・高齢分野の取組等も参考に、仕組図に国分寺市の社会資源を当てはめる。 ・医療機関への調査検討 ・基幹相談支援センター主催ネットワーク研修、都地域移行体制整備事業の圏域別研修と部会の連動
第2回	8月21日	① 報告事項 ・「地域移行」をテーマとした基幹相談支援センター主催、ネットワーク研修(5/21)報告 ・「養護教諭連絡会」(8/1)参加報告 ② 協議事項 ・長期入院者の状況把握に関して、リムラッド情報をもとに国分寺市民が入院している病院に発信予定 ・地域包括ケアシステムについて(社会資源、居場所) →入院医療・クリニック →居住支援系情報(グループホーム・公営住宅) →地域生活を体験する場としてのショートステイの今後の確保について ③ 各機関からの情報共有	① 北多摩西部圏域研修との連動を確認 ② 厚労省資料の要素別に国分寺市の社会資源情報を整理する。 ③ 各種講習、イベント等情報の他、行政の対応体制、新事業等が配信された。

第 3 回	12 月 11 日	<p>① 当事者より直接意見を伺う。 ・国分寺あゆみ会役員より家族のかかえる問題、必要としている社会資源、及び支援の課題等についてヒアリングならびに意見交流</p> <p>② 緊急時、災害時の対応について ・「避難行動要支援者登録制度」の周知浸透をはかる。 ・全戸配布のハザードマップの活用。各地域の自然災害のリスクの事前把握の必要性について</p> <p>③ 地域生活支援拠点事業について</p>	<p>① 今般は「家族」からのヒアリングを実施。家族全体を視野に入れた支援の重要性が焦点化された。</p> <p>② 緊急を要する状態になる前に支援につながることの重要性について言及。</p>
第 4 回	2 月 12 日	<p>① 都精神科医療地域連携事業について</p> <p>② 地域生活支援拠点、家族支援について</p> <p>③ 長期入院患者の把握のための調査について ・結果報告</p> <p>④ 次年度に向けての課題・取組について</p>	各検討事項が、精神障害にも対応した地域包括ケアシステムを検討していく際の重要な要素となることを共有した。

#### 成果・活動から見てきたことなど（課題整理）

<p>今年度も引き続き「精神障害にも対応した地域包括ケアシステム」の構築を念頭に協議を進めてきた。</p> <p>◆当事者からの意見聴取ということで今年度は「国分寺あゆみ会」役員よりヒアリングを実施した。 ・家族の抱える様々な困難を再認識すると共に、家庭に対するアプローチの方策について、また平素からの関係が、緊急時支援につながることも含め、その大切さを実感した。</p> <p>◆思春期のメンタルヘルスへのアプローチは、病気が発症する時期の最初のケア（プライマリーケア）・支援へのつながりという点からも重要な課題である。教育の現場では、児童精神医学的視点からの医師の関わり確保が課題になっている。教育分野、保健、福祉、医療の分野を超えた多機関の情報交流と連携への更なる取組が必要である。</p> <p>◆地域包括システムに関する国の「仕組み図」を用いて、社会資源の洗い出しを行った。社会資源は一定確保されていると思われる。しかし各資源の量、機能や対応力、利用のしやすさ等については課題があり、今後検討が必要である。</p> <p>◆長期入院患者の実態調査を行った。10 年以上の長期入院患者が 30 パーセントを占めており、退院に至らない理由も様々なものがあげられていた。本調査を踏まえ、次年度にむけ、具体的に地域移行にむけ何ができるか、さらに検討を重ねていく。</p>
--

#### 今後の活動予定

	日にち	内容	備考
次年度予定	7 月頃	<p>◆精神障害にも対応した地域包括ケアシステムの構築について</p> <p>◆長期入院患者の地域移行に向けてのアプローチについて</p>	◆第 1 回目の部会で通年の協議予定を確定していく。



# 令和 2 年度 精神保健福祉部会 年間活動計画書

## 今年度部会の主な取組予定

- ◆全体を通じて「精神障害にも対応した地域包括ケアシステム」の構築に向けて協議を行う。(継続)
  - ① 「地域生活支援拠点」の精神障害者の活用法を検討する。
  - ② 精神科病院に長期に入院中の国分寺市民の方々について、課題や地域移行支援のあり方を検討する。(継続)
  - ③ コロナ禍における支援の在り方や課題について検討・協議する。災害対策にも関連づけていく。
  - ④ 福祉の枠を超えた支援の連携について協議する。
  - ⑤ 精神障害当事者の方からの生活状況や暮らしのニーズ等のヒアリングを行う。

## 活動内容及びスケジュールなど

	日にち	内容	備考
第1回 (実施済)	7月30日(木)	① 障害福祉計画への部会としての意見反映について ② 今年度の部会の取組について 精神障害にも対応した地域包括ケアシステムの構築に向けて協議検討を重ねる。 ・精神障害者の方にとっての地域生活支援拠点について ・精神障害当事者からのヒアリング ・長期入院をしている国分寺市民の状況把握のための具体的な活動 ・コロナ禍における支援について ・精神科医療と他科診療機関の連携 ・9/15号市報掲載記事「こころの病について」内容検討	→高齢分野の取組等も参考にする。  →対象者の割り出し要 →医療機関への調査を踏まえて「ワーキンググループ」(WG)を編成する。 →都事業「精神科医療地域連携事業」の経過確認
第2回	9月25日(金)	・コロナ禍の支援の課題について ・地域生活支援拠点の検討における他分野との連携について ・長期入院をしている国分寺市民の状況把握のための具体的な活動について	→WGからの提起
第3回	12月22日(火)	・精神障害当事者よりのヒアリング ・緊急時、災害時の対応について ・地域生活支援拠点の在り方について ・東京都精神障害者地域移行体制整備支援事業について報告 ・地域移行WGの活動について報告	→今後の支援における課題を抽出していく
第4回	2月9日(火)	・今年度の取組についての検証について ・地域移行WGの取り組みと今後の動きについて ・次年度に向けての課題・取組について協議	

